

経営比較分析表（令和6年度決算）

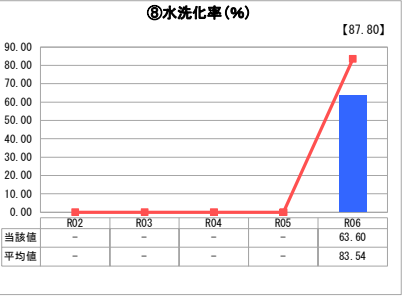
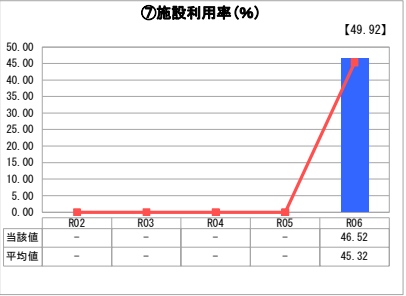
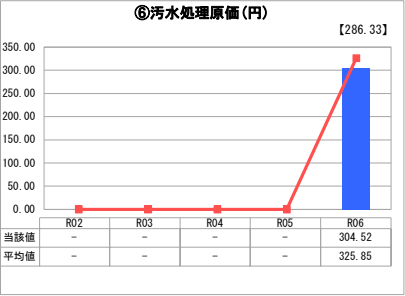
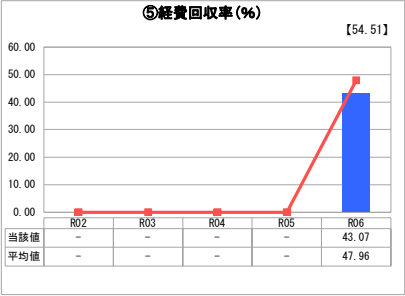
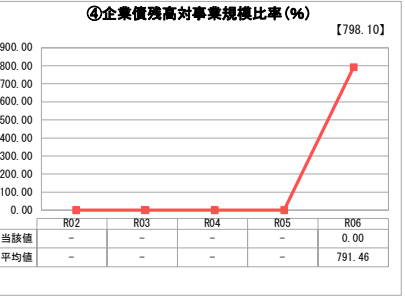
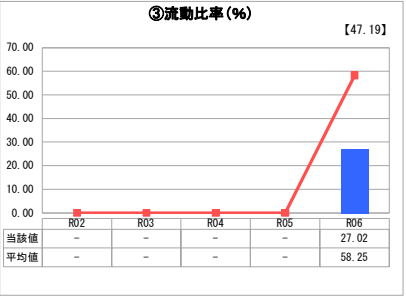
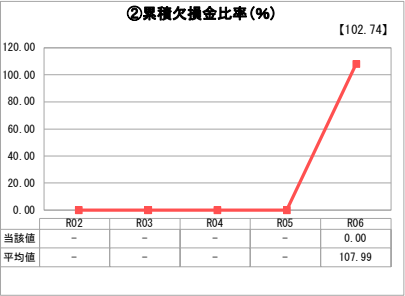
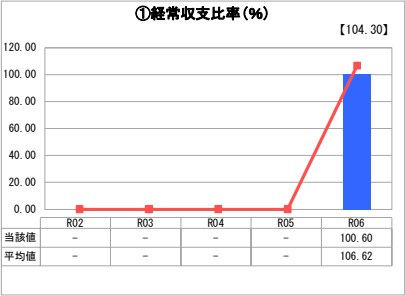
千葉県 成田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率（%）	自己資本構成比率（%）	普及率（%）	有収率（%）	1か月20㎡当たり家庭料金（円）
-	84.01	1.85	100.00	3,780

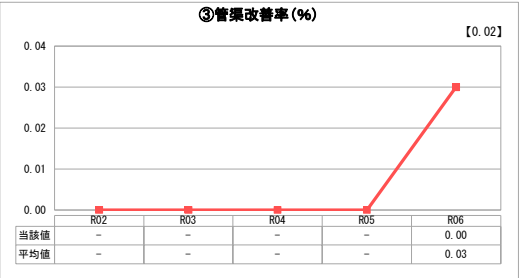
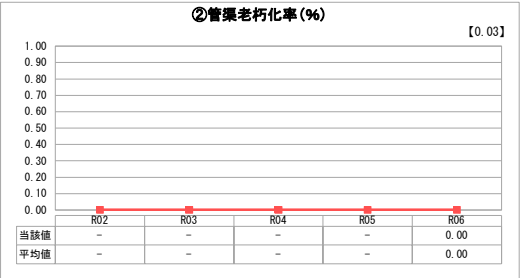
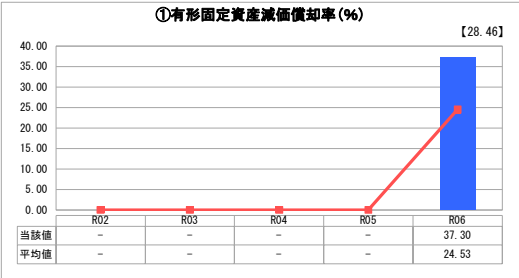
人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
133,099	213.84	622.42
処理区域内人口（人）	処理区域面積（km ² ）	処理区域内人口密度（人/km ² ）
2,467	1.72	1,434.30

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、一般会計からの繰入れがあることで100%に近い水準を維持することができている状況である。

③ 流動比率については、地方公営企業として事業を開始した当初から事業費用に対する現金保有額が少額であったこともあり、今後も100%を下回る状況が続くことが想定される。

⑤ 経費回収率が類似団体平均よりも低いが、使用料収入の大幅な増加は見込めず、今後も100%を下回る状況が続くことが想定される。

⑥ 汚水処理原価が類似団体平均よりも高いが、経年劣化により突発的な修繕等が生じ、維持管理費が増加することが見込まれ、今後も同様の状況が続くことが想定される。

2. 老朽化の状況について

令和6年度末時点では、管渠更新等は実施していないが、老朽化が進行しているため、今後更新が必要となる。

また、管路以外の施設（処理場・MP）についても経年劣化により突発的な修繕等が生じ、維持管理費が増加する傾向である。

全体総括

施設が全体的に経年劣化が進行しており、維持管理費の増加が見込まれるため、支出について経費軽減の方策を検討してまいりたい。

令和6年4月1日より法適用を行ったことで、経営状況（損益情報、ストック情報）の的確な把握が可能となり、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等に取り組んでいく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。